

◎スモモヒメシンクイ越冬世代の発生始まる（5月10日調査）

～引き続きスモモヒメシンクイの重点防除期間です。防除間隔10日を目安に散布を徹底して下さい～

地域・品種により凍霜害の影響が見られております。結実状況を把握し、良好な品種から順次摘果作業を進めて下さい。尚、ふくろみ病被害果実は、園外に除去して下さい。

1. プラム

【第7回 定期防除】 対象病害虫：シンクイムシ類、ウメシロカイガラムシ、黒斑病（かいよう病）

散布時期	・5月30日～6月9日（第6回定期散布から10日後）		
散布薬剤	水 100ℓ当り		散布日 _____ 6月 _____ 日
	展着剤（ハイテンパワー） 10mℓ		散布量 _____ ℓ
	劇ダズバンDF 33g（14日前、2回）		
マイコシールド 50g（21日前、3回）			
散布量	10aあたり 500ℓ		
注意事項	①【シンクイムシ類対策】 アーデントフロアブル2,000倍（前日、3回）を加用する。 ②大石早生は、マイコシールドを除いてよい。（収穫前使用規制厳守）		

2. プルーン

【第4回 定期防除】 対象病害虫：灰星病 アブラムシ類、（ハマキムシ類）、シンクイムシ類

散布時期	・5月24日～6月3日（前回の散布から14日後）		
散布薬剤	水 100ℓ当り		散布日 _____ 月 _____ 日
	展着剤（ハイテンパワー） 10mℓ		散布量 _____ ℓ
	劇モスピラン顆粒水溶剤 50g（前日、3回）		
バルコートフロアブル 50mℓ（3日前、3回）			
散布量	10aあたり 500ℓ		
注意事項	摘果果実は、腐敗病の伝染源になりやすいので、土中深く埋めるか、園外へ除去する。		

●着果管理について

凍霜害により園地、品種によっては、結実不良がありました。結実が悪い場合は、「1果そうに2果結実させる」、「摘果を行わない」など、可能な限り着果を確保して下さい。

5/10 スモモヒメシンクイ発生状況(フェロモントラップ調査) * ()内、前回 5/2 調査数

上今井 - 40 頭↑(14) 一本木 - 72 頭↑(14) 倭 - 61 頭↑(27)

【重要】シンクイムシ類の被害果は、園外へ除去し処理をお願いします。

予備摘果 (基礎資料)

時 期	摘果の程度	備 考
満開～30日頃 (果実の細胞数の増加期)	大石早生、静香・・・最終着果量の2～3割増 太陽、貴陽 …… // 3～4割増	生理落果 少 // やや多

	残す果実	落とす果実
方 法	①品質本来の形、正常果 ②果実が大きく縦長なもの ③果梗が太く、緑色の濃いもの ④着果位置が横向きか下向きのもの	①変形果、傷果、病虫害果 ②着果位置が上向きなもの (日焼け、傷果が発生する)

仕上げ摘果 (基礎資料) (果実1個に対し15～20枚の葉数) 満開後50～60日頃に下記を目安に摘果を行う。

◎プラム (中～長果枝) *短果枝群は中玉 (3～4芽に1果) ・大玉 (5～6芽に1果)

種 類	目標果重	摘 果 基 準	品 種
中玉果 大玉果	60～70g 80～120g 150g～	8～10cmに1果 10～15cmに1果 15cm～	大石早生、菅野中生 紅りょうぜん、ソルダム、サマーエンジェル、太陽 貴陽、秋姫 受粉樹も摘果を実施する。

◎プルーン

種 類	目標果重	摘 果 基 準	品 種
小玉果 中玉果 大玉果	30～40g 50～60g 70～100g	5cmに2果 10cmに3果 10cmに1～2果	サンタス、サンプルーン、シュガー くらしま早生、くらしまプルーン、スタンレイ パープルアイ、グランドプライズ、プレジデント

次回特報発行予定日：6月1日 問合せ先：園芸課・担当 横田 (080-5147-8257)